

❖❖ 火の元に十分ご注意ください！❖❖

冬場は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火災の発生を未然に防ぐためには、町民の皆さん一人ひとりが防火に対する意識を持つことが大切です。ご家族、ご近所で声をかけあい、火災の発生を未然に防ぎましょう。

用
火
心
の

■ 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント ■

3つの習慣

- 寝たばこは絶対にやめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

◆ 放火による火災にも注意しましょう！◆

火災が発生しやすいこの時期は、放火にも注意が必要です。放火されない環境づくりを心がけましょう。

放火されないために・・・

- 古新聞・ダンボールなどの不用品は整理整頓し、燃えやすいものを家の周りに置かないようにする。
- 自動車やバイク、自転車等のボディーカバーは、燃えにくい「防災品」を使用する。
- 外出時や就寝時は、玄関・窓等を施錠する。門扉・通用口・車庫・物置等の出入口は使用していないときは必ず施錠する。

問合せ 総務課 消防防災グループ ☎029 - 288 - 3111 (内線223、225)

「宝くじ助成事業」で 防災資機材を整備

小勝一区では、財団法人自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業(自主防災組織育成助成事業)」の助成金の交付を受けて、防災資機材を整備しました。

同区では、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯意識のもと昨年度に自主防災組織を設立し、自主的な防災活動に取り組んでいます。今後も安心して暮らせる地域づくりの推進に
なお一層の活躍が期待されます。



地域で防災訓練を実施

現在町では、行政区を基盤として、12の自主防災組織が結成されており、各組織が安心・安全な地域づくりのために活躍しています。

自主防災組織は、防災訓練など各種の防災活動を通して、火災等の災害への防災意識の高揚と知識の普及・啓発に努めています。



▲水戸市消防本部北消防署 城里出張所での防災訓練の様子

写真上)新町区自主防災会
写真左)石塚西区自主防災会